

## 「第6回 日本伝道会議」開催趣意書

主イエス・キリストの聖名を讃美いたします。

日本伝道会議では、2009年の第5回（北海道開催）閉会時に、第6回を2016年に開催することが報告されました。第5回終了後に準備室が立ち上がり、ご承知の通り開催地として神戸市が選ばれました。その後実行委員会また開催地委員会が発足し、会議の理念およびテーマについての検討を重ねて参りました。検討に際しては多くの方々にご協力いただきましたことをこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

約2年間に亘って各方面より頂きました貴重なご意見を元に、この度第6回伝道会議のテーマおよび理念を決定いたしました。ここに正式に開催の案内をさせていただきます。今後はこのテーマに基づいて具体的な準備を進めて行く所存です。7年に1度開催される貴重な伝道会議が、実りある会議となりますよう準備のためにぜひとも御加祷ください。また開催のための必要が満たされますようご協力頂けますなら幸いです。

主の豊かな祝福が皆様の上にありますよう、お祈り申し上げます。

### ■会議の概要

開催日	2016年9月27日（火）～30日（金）
開催地	兵庫県神戸市「神戸コンベンションセンター」
理念/テーマ	中面をご参照ください
内容	聖書講解、小グループ討論、テーマ別プロジェクト、分科会等
主講師	クリストファー・J・H・ライト博士（ランハム・パートナーシップ代表）
参加者	第6回日本伝道会議の趣意・目的に賛同する教職及び信徒
献金目標	4000万円

2014年6月

第6回日本伝道会議	実行委員会
会長	中台 孝雄（JEA 理事長）
実行委員長	竿代 照夫
副実行委員長	石田 敏則（広報担当）
”	大嶋 博道（開催地委員会委員長）
”	鎌野 善三（財務担当）
プログラム局長	小平 牧生
事務局長	畑中 洋人
事務局次長	牧野 友隆
委員	佐々木 望（JEA 担当理事）
”	梅田 登志枝（JEA 女性委員会）
JEA 総主事	品川 謙一

※問い合わせ [jce6-jim@jeanet.org](mailto:jce6-jim@jeanet.org)（JCE6 事務局）

※献金受付 郵便振替 00160-5-483905 加入者名/日本伝道会議

第6回日本伝道会議

## Re-VISION 2016 in KOBE

### 【概要】

- 期 日 2016年9月27日(火)～30日(金)
- 会 場 神戸コンベンションセンター(兵庫県神戸市)
- 主 催 第6回日本伝道会議実行委員会
- 主講師 クリストファー・ライト博士

### 【テーマ】



## 再生への Re-VISION

～ 福音・世界・可能性 ～



主イエス・キリストにあがなわれた私たちは、喜びをもって互いに仕え合い、福音を伝えます。主は私たちを赦し、私たちを生かし、私たちを主の器として用いてくださいます。

3.11から5年、1.17から20年、戦後70年、日本プロテスタント宣教170年、宗教改革から500年の時を迎えようとしている今、聖書信仰に根ざす私たちは、福音のすばらしさを見直し、時代と世界の文脈にある自らの姿を見直し、これからの可能性を見直しましょう。

和解の福音の使者である教会は、この危機の時代に広く深い宣教協力を目指して歩みます。疲れや失望、課題や不安から目をそらさず、忍耐深く、これまでの私たちの歩みを評価しましょう。また、私たちに与えられている豊かな賜物、働きのお機会、協力の態勢、宣教のビジョンをていねいに見直しましょう。

そして、中・長期的な視野で、日本・アジア・世界を見据え、宣教の夢を描き、神戸から2023年の第7回日本伝道会議に向かって歩み出しましょう。

Re-VISION 2016 in KOBE。今こそ、主に新たにされ、新たな使命に、新たな連携で取り組むときです。さあ、ともに集い、ともに語り、主とともに出て行きましょう！前進の足音が聞こえます。あなたの声と歩みを重ねましょう！

「そして、エリシャは祈って主に願った。『どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。』主がその若い者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。」Ⅱ列王紀 6:17

## 【基本理念】

日本におけるプロテスタント宣教 170 年<sup>1</sup>を迎える 2016 年 9 月、私たちは神戸において第 6 回日本伝道会議 (JCE6) を開催します。その初期において福音派のアイデンティティである「聖書信仰」を確認した JCE は、JCE4 では教会が「和解の福音」の使者であることを明らかにし、JCE5 では福音のための「宣教協力」を広くまた深く進めることを目指しました。JCE6 ではその歩みと現在の取り組みを確認し、そして 7 年後に予定されている JCE7 に向かって具体的な宣教協力を進めます。

### なぜ？ ～開催理念～

私たちは、聖書信仰と教会の共同性にもとづいて、教会・教団・宣教団体の宣教協力のためにさらに優れた態勢と環境を整え、また私たちの互いの交わりとネットワークをより活かしたものとすることによって、実り豊かな福音宣教の働きを行うことを目指します。

- ・ 3.11 を通して、福音の確認と宣教のあり方の再検討、また地域における新たな教会協力の取り組みが進められています。私たちはこの危機の時代の希望であるイエス・キリストの福音宣教の使命を確認し共有します。
- ・ 現在行われている宣教の働きを振り返りつつ、互いの状況と情報を交換し、対話を深めることにより、新たな協力分野を見だし、さらなる協力態勢を築く機会とします。
- ・ 宣教に携わる人々が励まされ、キリストにある交わりが深められ、ネットワークを活性化することによって、受け継がれてきた宣教のビジョンと働きを新たな世代に継承します。
- ・ 日本の教会の歴史に大きな貢献をし、また阪神淡路大震災からの復興の途を歩んでいる国際都市神戸に集い、世界と日本の各地域における宣教のために祝福を祈ります。

### 何を？ ～達成理念～

上記の目的を達成するために、ともに集い、みことばに聴き、祈り、そして互いに耳を傾け、それぞれの状況を分かち合い、ともに重荷を負う時を過ごします。そして、新たな宣教協力の具体策に取り組み、JCE 7 に向かう目標を共有して、それぞれの場にふたたび遣わされます。

- ・ 参加者が主体的に関わり、互いの交わりと友情を築く機会となるために、フロアにおけるテーブル型の会議を行います。
- ・ JCE の定期開催の目的にそって、次回 JCE7 にむかう目標と意識を共有します。宣教協力分野と地域の「プロジェクト」から各教会・教団・宣教団体の働き、そして個人生活にいたるまで、これまでの歩みを受け継ぎ、そして次につなげる具体的な計画と取り組みについて分かち合う機会とします。
- ・ すべてのプロセスにおいて、人が育ち、リーダーシップが継承され、若い人々・女性・信徒の賜物が活かされ、互いの関係が深められることを大切にします。
- ・ JCE6 の開催地である神戸の諸教会と地域に具体的な祝福がもたらされるように、神戸と教会のために祈り、学び、働きを進めます。

<sup>1</sup> 日本プロテスタント宣教の歴史を「170 年」と数えることについては「札幌宣言—21 世紀における教会のチャレンジ—」32 頁を参照のこと。